

ソースネクスト株式会社

2025年12月期中間事業報告書

2025年4月1日～2025年9月30日



代表取締役会長 兼 CEO

松田 寛章

代表取締役社長 兼 COO

小嶋 智彰

平素より当社をご支持いただいている皆様に心から御礼申し上げます。

当中間連結会計期間の実績につきまして、ご報告申し上げます。

Windows10のサポート終了に伴う移行需要によるソフトウェア製品の伸長や、「Oura Ring 4」など新規ハードウェアの取り扱い拡大、「ポケトーク」(端末)の販売高増加により、当中間連結会計期間の売上高は59億16百万円(前期比14.1%増)となり、増収により赤字幅を着実に縮小しました。

その他のIoT製品につきましては、文字起こしAI「AutoMemo(オートメモ)」の累計アカウント登録数(本サービスを利用する有料・無料会員合計)が増加し、2025年9月末時点で21万件を突破。サブスクリプション型テキスト化サービスの会員数も順調に拡大しております。さらに、同ソフトのオフライン版エンジンを採用した、オフライン環境でも利用可能な文字起こしAIソフト「RectText AI」を新たに発売しました。ネットワークのない環境下でも利用できるほか、パソコンのローカル環境で動作するため、機密性の高い会議等の文字起こしにも安心して使える製品です。今後も、ソフトウェア製品やIoT製品に加え、AIを活用した製品で持続的な収益拡大を実現してまいります。

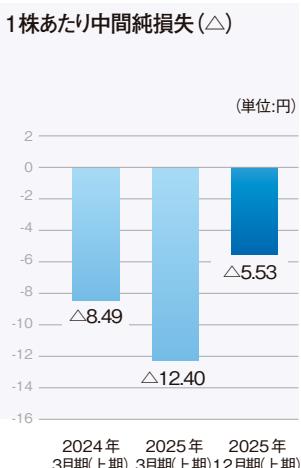
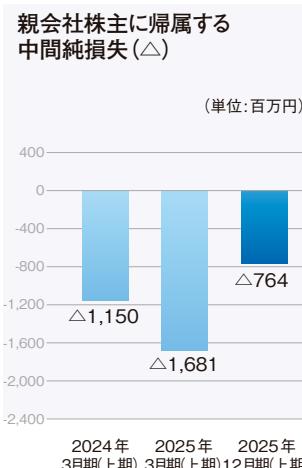
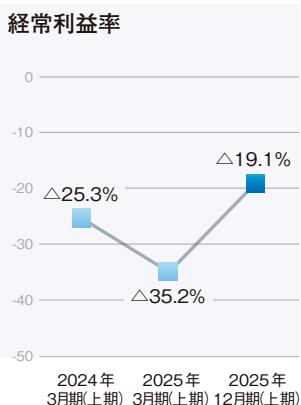
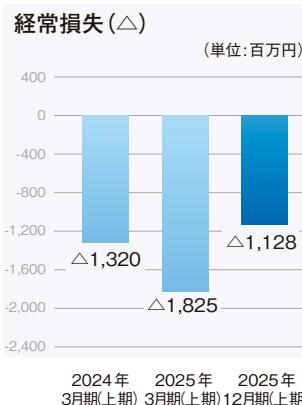
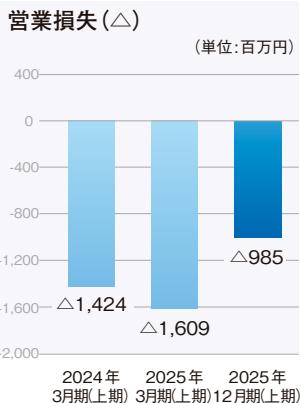
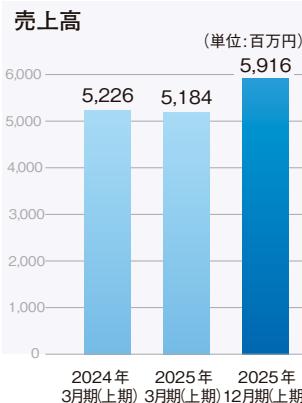
当社は、1996年の創業以来、「製品を通じて喜びと感動を世界中の人々に広げる」をミッションに、お客様のニーズや時代に合わせ、パソコンソフトからIoT製品まで、事業領域を拡大してまいりました。これからも、皆様に「次の、うれしい♪」を感じていただける製品を、スピード感を持って提供するために、製品の企画・開発に注力するとともに、収益の改善に向けて全力を尽くしてまいります。

皆様のより一層のご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

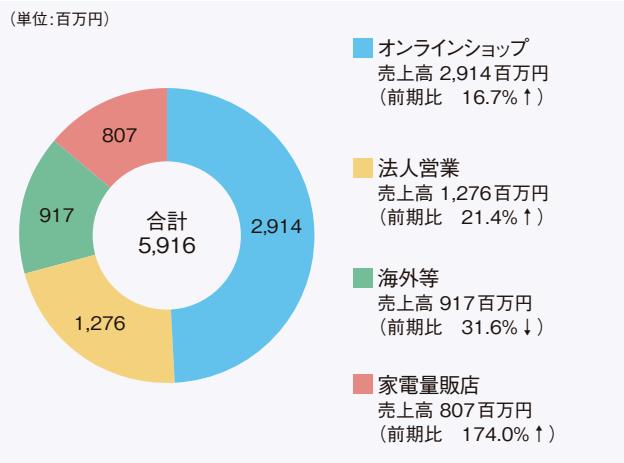


連結業績ハイライト

中間連結業績推移



チャネル別売上高



新たな需要も取り込み、製品が進化

旅行にも、仕事にも。広がるポケトーク

「Sentio」をはじめとする多言語ソリューションの拡充を通じて、「言葉の壁をなくす」ミッションのもと教育、観光、ビジネス分野でグローバルコミュニケーションの実現を加速させました。

AI同時通訳サービス Sentio (センティオ)

大規模なアップデートにより、対応言語がこれまでの10言語から41言語へと大幅に拡大しました。

特に要望の多かった「タイ語」や「ベトナム語」に新たに対応したこと、アジア市場や新興国ビジネスでの活用の幅が大きく広がっています。また、英語音声の誤認識率を約39%削減し、翻訳精度も国際的な評価指標「COMETスコア」で最大15%向上。これにより、より自然で信頼性の高い通訳体験を実現しました。

さらに10月のアップデートで、不適切な表現や冒流的な言葉を検知し、自動でフィルタリングする機能を追加しました。これにより、お客様にはより安心して、クリーンなコミュニケーションをご利用いただけます。

Sentio

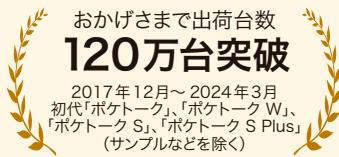


AI通訳機 ポケトーク S2

設定した2言語を自動で判別し、スムーズな会話を実現します。

Wi-Fiなしでも使える地域は170以上。バッテリーの持続時間も前モデルより大幅に改善しています。「ポケトーク アナリティクス」との連携でセキュリティ面もさらに強化。グローバルなセキュリティ基準への準拠により、個人でのご利用はもちろん、企業や団体、自治体でも安心してお使いいただけます。

POCKETALK



ポケトーク S2(左)と
ポケトーク S2 Plus(右)

健康を管理するスマートリング

オーラリング

ストレス、睡眠、健康を管理するウェアラブルデバイスです。

オールチタン製のデザインに、「Smart Sensing」を搭載。

心拍数、体温、睡眠、ストレス、アクティビティ、女性の健康など、30を超える生体情報を精密に測定・解析し、専用アプリで一人ひとりに合わせた気づきを提供します。



紛失防止タグ

ペブルビー

米国PB Inc.社が開発し、世界で初めてApple社製デバイスの「探す」ネットワークとGoogle社が提供する「デバイスを探す」機能の両方のネットワークへの対応を実現したスマートタグです。^注 鍵や財布、スーツケースなど、大切なに取り付けておくと、見当たらなくなった時にスマートフォンに標準搭載されている機能を使って、簡単に見つけられます。

注：PB Inc.社調べ。また、両方のネットワークを同時に使用できません。

pebblebee[®]



議事録向けAIサービス

文字起こしAI「オートメモ」

オートメモは、録音した音声の自動テキスト化や要約で議事録づくりを大幅に省力化するとともに、管理や共有までできる文字起こしAIです。PCでの直接録音から文字起こし、編集、共有までブラウザだけで完結。専用のボイスレコーダーや専用のスマホアプリもあります。精度の高いテキスト化と話者を音声で自動判別し、サッと議事録が完成します。お客様のニーズに的確に応え、アップデートを続けています。



アカウント数
21万突破
2025年9月末時点



専用ボイスレコーダー
オートメモ R(左)とオートメモ S(右)

リモート会議 関連製品

カメラ、マイク、スピーカーが一体になった会議用360度webカメラを販売しています。

ミーティングオウル

発言者を自動でフォーカスし、クローズアップ。人数が多めの会議向けの製品です。累計出荷台数は3万台を超え、多くの企業に導入されています。

新たに発売した「ミーティングオウル 4+」は、4K対応カメラを搭載し、広い会議室でも、本体から離れた席の参加者の表情まで鮮明に映し出すことができます。



ミーティングオウル 4+(左)と
ミーティングオウル 3(右)

パソコンソフト

Windows 10のサポート終了を受け、PC環境の更新が進む中、セキュリティ、ビジネス、引越しソフトの需要が高まっています。

ペーパーレス化と、生成AI活用を支援する「いきなりPDF」



高性能・低価格でPDF作成の常識を変えたロングセラーです。累計導入実績は15,000社以上。OCR処理で生成AIが読みやすく、活用しやすいPDFを作れます。

期限なしのウイルス対策ソフト「ZERO」



ZEROシリーズは「端末固定・期限なし」の独自ライセンス。入れた端末が使えなくなるまで守り続けます。1台に1本、1回入れれば対策が完了し、コストの面でも手間の面でも、セキュリティの負担を大きく軽減します。

4ブランドの年賀状ソフト



Windows用の年賀状ソフトでトップシェアの「筆まめ」、Mac用でトップの「宛名職人」、そして自社著作の「筆王」と3ブランドのソフトを提供。当社サイトでは、毎年の自動継続版が売上を堅調に伸ばしています。今回から「筆ぐるめ」も、当社から販売することとなりました。

ユーザーサービス

2000万人を超えるご登録ユーザー

当社は、ダウンロード販売を中心に自社サイトでの通信販売を展開。製品をご購入になり製品登録をされたお客様に、アフターサービスとしてバージョンアップやユーザー割引などのリピート購入を促進しています。

ユーザー登録数はのべ2000万人を超え、大きな資産となっています。

連結財務諸表(要旨)

中間連結貸借対照表

2025年9月30日現在 (単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	9,937,446	流動負債	5,613,029
固定資産	5,625,290	固定負債	1,596,474
有形固定資産	75,802	負債合計	7,209,504
無形固定資産	3,439,046		
投資その他の資産	2,110,441		
		純資産の部	
		株主資本	6,720,824
		その他の包括利益累計額	52,170
		新株予約権	474,451
		非支配株主持分	1,105,785
		純資産合計	8,353,231
資産合計	15,562,736	負債純資産合計	15,562,736

中間連結損益計算書

2025年4月1日から2025年9月30日まで (単位:千円)

科目	金額
売上高	5,916,839
売上原価	2,806,877
売上総利益	3,109,961
販売費及び一般管理費	4,095,658
営業損失(△)	△985,697
経常損失(△)	△1,128,012
税金等調整前中間純損失(△)	△1,107,621
法人税等合計	4,874
中間純損失(△)	△1,112,495
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△347,941
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△764,554

中間連結キャッシュ・フロー計算書

2025年4月1日から2025年9月30日まで (単位:千円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	166,815
投資活動によるキャッシュ・フロー	△640,821
財務活動によるキャッシュ・フロー	△797,156
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,602,309

よくあるお問合せ

Q. 最も人気の高い製品・サービスは 何ですか?

A. AI通訳機「ポケトーク」および、文字起こしAI「オートメモ」などIoT製品が好評です

「ポケトーク」は2017年12月の発売以来、累計出荷台数120万台を突破(2024年10月時点)。米国においては、非ネイティブへの多言語対応のために、教育機関や医療機関、公共機関等での採用が加速しています。また「ポケトーク」で培った音声認識技術を活かして、録音した音声を文字起こしするAI「オートメモ」は、音声認識精度向上や要約機能の実装等、改善を続けており、サービス利用アカウント数が21万を超えるなど、好評いただいている。

Q. 株主還元策はどのように考えていますか?

A. 安定的に配当する方針を堅持しています

業績、配当性向及び中長期の企業成長に必要な投資額などを総合的に考慮した利益配分を基本方針としております。これまで10から15%の配当性向にて配当を実施しております。

しかしながら、前期は38億96百万円の当期純損失を計上しております。業績の回復に全力を注ぐとともに、中長期的な成長を支える基盤を立て直していくため、誠に遺憾ではございますが当期につきましては無配を予定しております。株主還元施策として導入した株主優待制度に関しましては、引き続き実施いたします。保有いただいている株数に応じて、当社サイトでの購入の際にご利用できるクーポンを進呈いたします。

Q. 今後の事業戦略は?

A. 法人向けポケトーク製品の販売拡大、米国における収益拡大。

その他製品は、AIに特化した新製品の開発・販売を進めます

「ポケトーク」については、「Sentio」などのソフトウェア製品の販売に加え、日本国内でのインバウンド需要による法人向けの専用端末「ポケトークX」の開発を進め早期の市場投入を目指します。

その他の製品につきましては、セキュリティソフトや「いきなりPDF」をはじめとする主力製品の販売促進に注力いたします。既存製品の機能拡充などに加え、文字起こしAI「オートメモ」などをはじめとする、生成AIなどの新たな技術を活用した新製品の開発・販売を積極的に進めてまいります。

Q. コンプライアンス体制の構築はされていますか?

A. コンプライアンス重視の風土を築いております

当社の理念「世界一エキサイティングな企業になる」では、エキサイティングを「正しい、喜ばれる、面白い」と定義し、正しさを求める風土を醸成しています。また、勤務形態を問わず入社時と年に1度の研修やテストの履修を義務づけるほか、社員で構成される委員会活動などで教育をしております。さらに、法令上疑義のある行為は、全従業員が匿名で当社と利害関係のない独立機関を通じて会社に報告できる通報窓口を設置、運営しています。

会社の概況 (2025年9月30日現在)

商号	ソースネクスト株式会社
英文社名	SOURCENEXT CORPORATION
設立年月日	1996年8月2日
本社所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂一丁目14番14号 第35興和ビル4階 ※2025年12月15日に移転いたしました。 (移転先住所:〒102-0075 東京都千代田区 三番町3番地8 泉館三番町3階)
資本金	4,009百万円
従業員数	単体 105名(臨時2名含む) 連結 170名(臨時4名含む)
事業内容	パソコン・スマートフォンソフトウェアおよび ハードウェア製品の企画・開発・販売

役員の状況 (2025年9月30日現在)

代表取締役会長 兼 CEO(最高経営責任者)	松田 憲幸
代表取締役社長 兼 COO(最高執行責任者)	小嶋 智彰
取締役 兼 CFO(最高財務責任者)	青山 文彦
社外取締役	安藤 国威
社外取締役	中井戸 信英
社外取締役	大上 有衣子
常勤監査役	杉田 健一
社外監査役	小林 哲也
社外監査役	木南 麻浦

株式の状況 (2025年9月30日現在)

発行可能株式総数	361,120,000株
発行済株式の総数	139,110,300株
株主数	52,088名

企業理念

社名の由来

「次の常識をつくる」

ソースネクスト株式会社 最高戦略

ミッション

製品を通じて、喜びと感動を、
世界中の人々に広げる

ビジョン

世界一エキサイティングな企業になる

エキサイティングの3条件
正しい、喜ばれる、面白い

事業年度

毎年1月1日から12月31日まで

※第30期は2025年4月1日から2025年12月31日まで

定時株主総会

毎年3月開催

基準日

定時株主総会 毎年12月31日

期末配当 毎年12月31日

その他必要がある時は、あらかじめ公告して定めた日

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人

及び特別口座の

口座管理機関

株主名簿管理人

事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先)

〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

0120-782-031

(インターネットホームページURL)

<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

(株式に関する住所変更などのお届出及びご照会について)

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更などのお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

(特別口座について)

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更などのお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。

公告の方法

電子公告の方法により行ないます。

[\(https://www.sourcenext.com/\)](https://www.sourcenext.com/)

ただし、やむを得ない事由により電子公告ができない場合は日本経済新聞に掲載します。

証券コード

4344

上場証券取引所

東京証券取引所 プライム市場



ソースネクスト株式会社

〒102-0075

東京都千代田区三番町3番地8

泉館三番町3階